

新潟の 乗り物

～都市を支えたバスと鉄道～



この企画展の主役は、戦後の新潟で活躍したバスと鉄道です。

バスに運転手さんと車掌さんが乗っていた昭和30年代、新潟を走っていた丸い形をしたバスは、新潟県が日本一の産出量を誇った天然ガスを燃料にしていました。

新潟交通の電車線は、平成11年に廃線となりましたが、中ノ口川沿いをのんびりと走っていた姿は、その色と形から“かぼちゃ電車”と呼ばれ、新潟の人々に親しまれていました。

一方で、技術の進歩と鉄道網の整備により高速化が進んだ昭和40年代には、当時の国鉄でたくさん特急列車が走るようになりました。新潟と東京を結ぶ特急ときはドル箱路線に成長し、上越新幹線の開通へとつながっていきます。

この展覧会では、私たちの生活に身近な乗り物たちの懐かしい姿を紹介するとともに、新潟という地域に育まれた交通機関の発展の姿を紹介します。また、会期中には、バスに乗ったり、鉄道模型を運転したりと、こどもから大人まで楽しめる関連イベントも開催します。みなとびあで新潟の乗り物を見て、体験してください。



新潟の乗り物展 会期中の関連行事

※詳しくはお問い合わせ下さい。

鉄道模型運転会

7月25日(日) 10:30～17:00 博物館本館 2Fセミナー室
8月22日(日) 10:30～16:30 博物館本館 2Fセミナー室

昭和30年代から現代まで、新潟を走っていた列車の模型の運転会。実際に模型を運転することができます。

新潟交通電車線旧月潟駅とかぼちゃ電車見学会

8月1日(日) 午後1時30分～

あの緑と黄色のかぼちゃ電車が、旧月潟駅に保存されています。新潟の乗り物展限定の企画として、普段は公開しない旧月潟駅とかぼちゃ電車の見学会を開催。この見学会に参加する方の特典も用意しています。

ボンネットバス試乗会

8月14日(土) 11:00～17:00 (45分間隔で運行)
15日(日) 10:00～16:00 (45分間隔で運行)

懐かしのボンネットバスが博物館から万代橋・柳都大橋を渡り、ぐるりと新潟の街を走ります。昔のバスですから、冷房はありませんので御注意下さい。

講演会

「川汽船から新潟のバス・鉄道の発展まで」
講師：瀬古 龍雄氏 (鉄道友の会参与)
8月7日(土) 14:00～ 博物館本館 2Fセミナー室

INFORMATION

■観覧料 (常設展示観覧料を含む)

	一般	団体(20名以上)
大人	600円	480円
大学生・高校生	400円	360円
中学生・小学生(平日)	200円	160円

■小中学生は、土・日・祝日の観覧料が無料になります。
「夏休み! にいがた探検マップ」を持参した小・中学生は無料です。

■開館時間: 9:30～18:00

※ 金曜日は9:30～20:00まで
(観覧券の販売は閉館30分前まで)

■休館日: 月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)

■交通案内

□新潟駅より:

新潟市観光循環バス
(犬夜叉号で15分)「歴史博物館前」
バス停すぐ
新潟交通「昭和大橋・入船町」行き
バスで25分「歴史博物館前」バス停
下車すぐ

□車で:

新潟バイパス紫竹山ICより約15分
(駐車場:60台収容可能)

□信濃川ウオーターシャトルが敷地内より発着

